

New!

hP53 – mAb clone BP53-12

Anti-Human p53 Protein, Monoclonal Antibody clone BP53-12

本製品は、組換えヒトp53 蛋白をマウスに免疫後、マウスの脾臓細胞とマウスミエローマ細胞を融合して得られたハイブリドーマを無血清培養し、培養上清からProteinGによりアフィニティ精製したものです。

p53は、転写因子として働き、染色体損傷を受けた細胞内での細胞周期進行の停止を制御(遺伝子修復酵素の活性化・アポトーシス誘導能)します。p53 遺伝子に点変異が生じると機能を失い、様々な腫瘍の原因となります。一般的には、癌化した細胞ではp53 濃度が5-1,000倍に上昇します。これは変異型p53 の半減期が野生型に比べて長い(20分→4時間)ことに起因します。P53 は核に局在しますが、変異型の場合では細胞質と核に分散して存在することもあります。

血中抗p53 自己抗体とp53 遺伝子の変異には、相関があるとの報告があります。P53 遺伝子の変異と初期癌の有無に相関があることから、血中抗p53 抗体は臨床検査に利用されています。

製品名	製品番号	サイズ	価格(円、税別)
Ant-Human p53 mAb clone BP53-12	47012000	100 µg	¥50,000

* 本製品はライセンス契約に基づき弊社が製造・販売するものです。
* バルク注文については営業所、ホームページまでお問い合わせ下さい。
* 本品は研究用試薬であり、医薬品では御座いません。

製品仕様

サブクラス:	マウス IgG _{2a}
交差性:	ヒト (以外は未評価)
エピトープ:	p53 蛋白 N 末端領域
製品形態:	精製抗体 / PBS (-) 溶液
保存条件:	冷凍 (-70°C 以下)
濃度:	0.8- 1.2 mg/mL (Abs. 280 nm より換算)
純度:	90% 以上 (SDS-PAGE)
品質規格:	IHC 及び WB で反応性を確認しています。
容量:	100 µg

※本製品はロット毎に製品仕様項目を品質確認済みです。



Support for Cancer Research オリエンタル酵母の研究用試薬・抗体

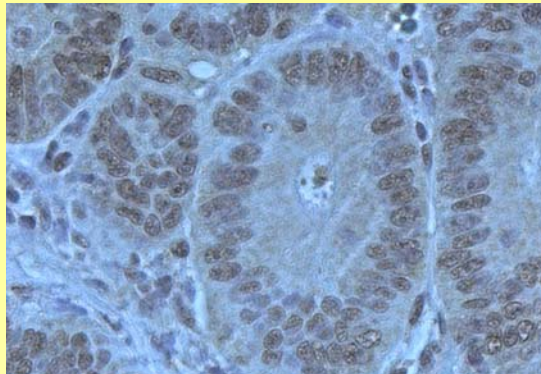


Fig. 1

Fig.1 乳癌組織(パラフィン切片)免疫染色 中拡大像
癌部の細胞において、
核の染色以外に細胞質の染色も観察された。
(写真提供：市立奈良病院 病理部 今井俊介先生)

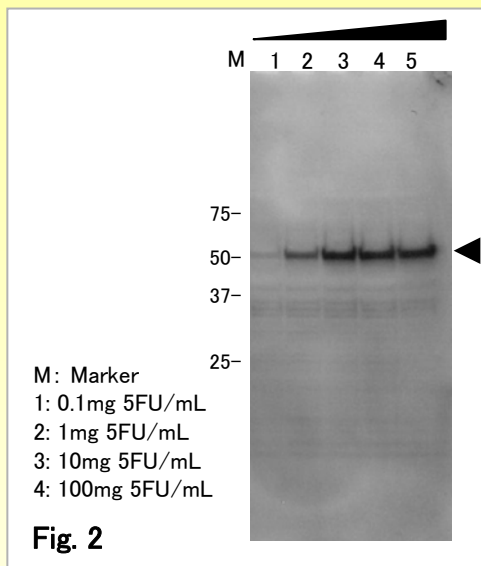


Fig. 2

Fig.2 5-FU 処理したMCF-7 核画分Lysate を用いた
ウェスタンブロット分析像:
5-FU による変異誘導の強度依存的にp53 の核への
集積が確認された。非特異的なバンドはほとんど
確認できず、高い特異性が確認できた。

参考文献

1. Bartek et al., *Oncogene*, **5**: 893, (1990)
2. Shimada H. et al., *Cancer* **97**, 682 (2003)
3. Hollstein et al., *Science*, **253**: 49, (1991)
4. Lane, D.P., *Nature*, **358**: 15, (1992)



オリエンタル酵母工業株式会社

お客様窓口

ホームページからお問い合わせ、ご注文下さい

<http://www.oyc-bio.jp/inquiries/add>

バイオ事業本部

Tel. 03-3968-1192 Fax. 03-3968-4863

営業所

東京バイオ営業所

Tel 03-3968-1163 Fax 03-3968-1196

大阪バイオ営業所

Tel 06-6338-1095 Fax 06-6384-7692

札幌営業所

Tel 011-261-6591 Fax 011-222-0755

㈱オリエンタルバイオサービス関東

Tel 0298-58-0115 Fax 0298-58-2931

㈱オリエンタルバイオサービス

Tel 075-322-1177 Fax 075-322-0232

㈱ケーピーティーオリエンタル

Tel 0942-81-2400 Fax 0942-81-2401



FM 541481 / ISO 9001:2000

取扱店

www.oyc-bio.jp